

合気道小話「デモンストレーション」



群馬杉武館代表 杉本 久
(挿絵 ハシナ・ハナコ)

合気道の良さは、技のデモンストレーションがすぐに出来ることだと思う。
剣道は竹刀で相手を殴る訳にはいかず、柔道は受身もできない相手を投げ飛ばす訳には
いかず、空手は試し割の瓦を、いつもカバンの中に忍ばせてはおけない。
その点、合気道はこれといった道具も必要なく、加減をしながら相手を制御できるので、
デモがやりやすい。

例えば、手首をしっかりと握らせておいて、外して見せたり、反対に手首を絡めて二ヶ
条技に極めてみたり、その場に少しの空間があれば、うつ伏せになってもらい、三ヶ条
抑えで動けなくしてしまう、などのデモができる。

ずっと以前、稽古仲間のひとりが、大学を卒業し、日本の大手商社に入社した。
その後、彼の上司である国際商社マンが本を出版した。その上司は空手道の有段者である。
世界を駆け巡っており、外国のあちこちに空手道の弟子がいる、すごい人である。
その人は海外でインネンを吹かけられて喧嘩になりそうな時は、空手のデモンストレー
ションをすると本に書いてあった。空手の型、突きや蹴り。有段者が正拳突きをやると、
空気を切り裂いてビュッと音がする。「俺に立ち向かうと手強いぞ」言葉も添えたかもしれ
ない。すると、たいていは喧嘩を未然に防げたそうだ。

群馬県で合気道の指導を始めてもう20年以上たったが、実にいるんな人が入門してきた。
身体の大きい人、小さい人、太い人、細い人、ゴツイの柔らかいの...、
柔道、空手、剣道、ウエイトリフティング、カヌーの国体選手...、
警察官、自衛隊員、魚屋の兄さん、学校の先生...。少年、青年、年配者...。
今まで体験しに来た人は、幸いすべて、私のデモンストレーションにより、思った通り
に相手は崩れた。

しかし今後、どんな人が入門してくるかわからないし、私の技の効かない人もやがては
現れるだろう。その時のセリフは既に用意してある。

「あなたはとても私などの手に負えない。東京本部の私の師範を紹介しますから、そち
らを訪ねてください」

田舎の医者が、手に負えない患者を、施設の整った大病院で経験豊かな医者に紹介する
ようなものだ。

見栄を張ったり、ごまかしたりして伝えるより、その方がずっと正しいと思っている。